

学校コード F112310102495

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

神田外語大学 グローバル・リベラルアーツ学部 グローバル・リベラルアーツ学科 (必要がある場合) ○○専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人佐野学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 学長室

職名・氏名 シニアマネージャー・^{ヒラハラ} 平原 ^{ミツオ} 三生

電話番号 043-273-1607(内1304)

(夜間)

e-mail kaikaku@ml.kuis.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

グローバル・リベラルアーツ学部

＜グローバル・リベラルアーツ学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	22
6. 附帯事項等に対する履行状況等	42
7. その他全般的事項	44

＜別添資料＞

神田外語大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規則	48
-----------------------------	----

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人佐野学園

(2) 大学名

神田外語大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒261-0014

千葉県千葉市美浜区若葉1丁目4番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(サノ モトヤス) 佐野 元泰 (平成22年4月)		
学長	(ミヤウチ タカヒサ) 宮内 孝久 (平成30年4月)		
学部長	(ロバート デシルバ) Robert DeSilva (令和3年4月)	(カナグチ ヤスヒサ) 金口 恭久 (令和5年4月)	行政職任期満了に伴う変更、令和5年4月1日、 (5)
学科長等	(パーク シウオン) Park Siwon (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部、学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
グローバル・リベラルアーツ学部 グローバル・リベラルアーツ学科 学主（グローバル・リベラルアーツ）	文学関係	4年	60人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	240人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率（控除後）	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	人	人	人	人	人	人	人	60	人	60	人	60	人	1.14倍	一倍	1.11倍	一倍	
	志願者数	()	()	()	()	()	()	()	427	()	315	()	334	()					
	受験者数	()	()	()	()	()	()	()	408	()	308	()	323	()					
	合格者数	()	()	()	()	()	()	()	170	()	224	()	169	()					
B	入学者数	()	()	()	()	()	()	()	59	()	81	()	67	()					
	入学定員超過率 B/A								0.98		1.35		1.11						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ （ ）内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **編入学生は記入しないでください。**
- ・ []内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。
- ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。**計算の際は「入学定員超過率」と同様**にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	53 (-)	- (-)	76 (1)	- (-)	68 (2)	- (-)	
2年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	- (-)	- (-)	50 (-)	- (-)	76 (1)	- (-)	
3年次					[] ()	[] ()	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	49 (-)	- (-)	
4年次							- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	53 (-)	- (-)	126 (1)	- (-)	193 (3)	- (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	59人	6人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	6人	人	学生個人の心身に関する事情(3人)、進路変更(2人)、除籍(1人)
令和4年度	134人	8人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	2人	人	進路変更(2人)
			令和4年度	6人	人	進路変更(6人)
令和5年度	193人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		14人		14人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{59} = \boxed{10.16} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{134} = \boxed{5.97} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{193} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

		化学 I	2・3・4前	2												1
		化学 II	2・4後	2												1
		物理学 I	2・3・4後	2												1
		物理学 II	2・4後	2												1
		生物学 I	2・3・4前	2												1
		生物学 II	2・4後	2												1
		自然科学概論 I	2・3・4前	2												1
		自然科学概論 II	2・4後	2												1
		小計(39科目)	-	0	78	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	24
B	B群	数的思考法	2・3・4前	2				1								
		デジタル・シチズンシップ論	2・3・4前	2				1								
		データ・サイエンス概論	2・4後	2												1
		コンピュータ・サイエンス概論	2・4後	2												1
		ビッグデータ解析論	3・4前	2												1
		エビデンスと評価	3・4前	2												1
		小計(6科目)	-	0	12	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	H	宗教文化論 I	2・3・4前	2												1
		宗教文化論 II	2・4後	2				1								
		芸術文化論 I	2・3・4前	2												1
		芸術文化論 II	2・4後	2					1							
		人間と文学	2・3・4前	2												1
		人間と思想	2・4後	2					1							
		世界近現代史	2・4後	2									1			
		文化人類学	2・4後	2												1
		小計(8科目)	-	0	16	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
S	Societies (社会と共生)	共生社会論	2・3・4前	2					1							
		社会と多様性 I	2・3・4前	2												1
		社会と多様性 II	2・4後	2									1			
		社会とサステナビリティ	2・4後	2												1
		現代社会とイノベーション	2・3・4前	2					1							
		言語・文化とコミュニケーション	2・4後	2				1								
		デジタル・メディアと社会	2・3・4前	2												1
		異文化コミュニケーション論	2・4後	2												1
		小計(8科目)	-	0	16	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
G	S (Global Studies グローバル・スタディーズ)	グローバル・ガバナンス I	2・3・4前	2					1							
		グローバル・ガバナンス II	2・4後	2					1							
		地域とグローバル世界 I	2・3・4前	2				1								
		地域とグローバル世界 II	2・4後	2					1							
		グローバル平和論	2・3・4前	2				1								
		国際法	2・4後	2									1			
		国際機構論	2・3・4前	2										1		
		国際開発論	2・4後	2												1
		小計(8科目)	-	0	16	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
B	基礎演習	アカデミック日本語 I	1前	2					1							
		アカデミック日本語 II	1後	2					1							
	小計(2科目)	-	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
P	演習科目	講読(HUM)(宗教文化)	3・4前	2				1								1
		講読(HUM)(芸術文化)	3・4前	2					1							
		講読(HUM)(文学/思想)	3・4前	2				1								
		講読(HUM)(歴史)	3・4前	2						1						
		講読(SOC)(社会と多様性)	2・4後	2						1						
		講読(SOC)(社会とサステナビリティ)	3・4前	2												1
		講読(SOC)(現代社会とイノベーション)	2・4後	2					1							
		講読(SOC)(言語・文化とコミュニケーション)	3・4前	2				1								
		講読(GS)(グローバル・ガバナンス)	3・4前	2						1						
		講読(GS)(地域とグローバル世界)	2後3前4前後	2				1	1						1	
		講読(GS)(グローバル平和論)	2・4後	2					1							
	小計(11科目)	-	0	22	0	3	4	4	0	0	0	0	0	0	2	
R	研究	研究演習 I	2後	2				3	4	4						
		研究演習 II	3前	2				3	4	4						
		研究演習 III	4通	4					3	4	4					

		化学 I	2・3・4前	2												1
		化学 II	2・4後	2												1
		物理学 I	2・3・4後	2												1
		物理学 II	2・4後	2												1
		生物学 I	2・3・4前	2												1
		生物学 II	2・4後	2												1
		自然科学概論 I	2・3・4前	2												1
		自然科学概論 II	2・4後	2												1
		小計(39科目)	-	0	78	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	25
B	B群	数的思考法	2・3・4前	2				1								
		デジタル・シチズンシップ論	2・3・4前	2				1								
		データ・サイエンス概論	2・4後	2												1
		コンピュータ・サイエンス概論	2・4後	2												1
		ビッグデータ解析論	3・4前	2												1
		エビデンスと評価	3・4前	2												1
		小計(6科目)	-	0	12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	H	宗教文化論 I	2・3・4前	2									1			1
		宗教文化論 II	2・4後	2								1				
		芸術文化論 I	2・3・4前	2												1
		芸術文化論 II	2・4後	2									1			
		人間と文学	2・3・4前	2												1
		人間と思想	2・4後	2						1						
		世界近現代史	2・4後	2										1		
		文化人類学	2・4後	2												1
		小計(8科目)	-	0	16	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0
S	Societies (社会と共生)	共生社会論	2・3・4前	2									1			
		社会と多様性 I	2・3・4前	2												1
		社会と多様性 II	2・4後	2										1		
		社会とサステナビリティ	2・4後	2												1
		現代社会とイノベーション	2・3・4前	2								1				
		言語・文化とコミュニケーション	2・4後	2					1							
		デジタル・メディアと社会	2・3・4前	2												1
		異文化コミュニケーション論	2・4後	2												1
		小計(8科目)	-	0	16	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
G	S (Global Studies グローバル・スタディーズ)	グローバル・ガバナンス I	2・3・4前	2									1			
		グローバル・ガバナンス II	2・4後	2									1			
		地域とグローバル世界 I	2・3・4前	2				1								
		地域とグローバル世界 II	2・4後	2									1			
		グローバル平和論	2・3・4前	2				1								
		国際法	2・4後	2											1	
		国際機構論	2・3・4前	2											1	
		国際開発論	2・4後	2												1
		小計(8科目)	-	0	16	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
B	基礎演習	アカデミック日本語 I	1前	2											1	
		アカデミック日本語 II	1後	2											1	
	小計(2科目)	-	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
P	演習科目	講読(HUM)(宗教文化)	3・4前	2				1								1
		講読(HUM)(芸術文化)	3・4前	2					1							
		講読(HUM)(文学/思想)	3・4前	2				1								
		講読(HUM)(歴史)	3・4前	2						1						
		講読(SOC)(社会と多様性)	2・4後	2									1			
		講読(SOC)(社会とサステナビリティ)	3・4前	2												1
		講読(SOC)(現代社会とイノベーション)	2・4後	2					1							
		講読(SOC)(言語・文化とコミュニケーション)	3・4前	2												1
		講読(GS)(グローバル・ガバナンス)	3・4前	2												1
		講読(GS)(地域とグローバル世界)	2後3前4前後	2				1	1						1	
		講読(GS)(グローバル平和論)	2・4後	2					1							
	小計(11科目)	-	0	22	0	3	4	3	0	0	0	0	0	0	2	
R	研究	研究演習 I	2後	2					3	4	2					
		研究演習 II	3前	2					3	4	3					
		研究演習 III	4通	4						3	4	3				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	卒業研究(キャップストーン・プロジェクト)	4通	4			3	4	4			0
	小計(4科目)	-	12	0	0	3	4	4	0	0	0
合計(174科目)											
卒業要件及び履修方法											
1. 以下の所定の科目別単位数を修得し、129単位以上修得すること。英語科目35単位(留学包括認定2単位含む)、選択外国語科目4単位、GLA基礎科目18単位、基礎教養科目:A群12単位(留学包括認定4単位含む)B群6単位、専門教養科目:30単位(留学包括認定10単位含む)、演習科目:基礎演習4単位、講読演習8単位、研究演習8単位のほか卒業研究4単位を修得すること。 2. 履修登録単位数の上限:20単位(1年次後期・2年次前期・後期・3年次前期)、30単位(4年次前期・後期)とする。 3. 3年次後期留学包括認定:16単位(英語科目:2単位、基礎教養科目A群:4単位、専門教養科目:10単位)とする。											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	卒業研究(キャップストーン・プロジェクト)	4通	4			3	4	3			0
	小計(4科目)	-	12	0	0	3	4	3	0	0	0
合計(174科目)											
卒業要件及び履修方法											
1. 以下の所定の科目別単位数を修得し、129単位以上修得すること。英語科目35単位(留学包括認定2単位含む)、選択外国語科目4単位、GLA基礎科目18単位、基礎教養科目:A群12単位(留学包括認定4単位含む)B群6単位、専門教養科目:30単位(留学包括認定10単位含む)、演習科目:基礎演習4単位、講読演習8単位、研究演習8単位のほか卒業研究4単位を修得すること。 2. 履修登録単位数の上限: 必修のみ(1年次:前期16単位、後期10単位) 、20単位(2年次前期・後期・3年次前期)、30単位(4年次前期・後期)とする。 3. 3年次後期留学包括認定:16単位(英語科目:2単位、基礎教養科目A群:4単位、専門教養科目:10単位)とする。											

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
英語科目	Academic Reading (a)	1前①	1									2
	Academic Reading (b)	1後	2									2
	Academic Writing (a)	1前①	1			1						3
	Academic Writing (b)	1後	2			1						3
	Academic Discussions & Presentations (a)	1前①	1									3
	Academic Discussions & Presentations (b)	1後	2									3
	English for Academic Purposes (a)	1前	2			1						2
	English for Academic Purposes (b)	1後	2			1						2
	Self-Directed Learning	1前	1			1						3
	TOEFL ITP 演習	1後	1									1
	Critical Reading (a)	2前	2			1						2
	Critical Reading (b)	2後	2			1						2
	Advanced Writing (a)	2前	2									3
	Advanced Writing (b)	2後	2									3
	English for GLA I (Introduction to Global Issues)	2前	2			1						1
	English for GLA II (Media Literacy)	2前	2									1
	English for GLA III (Global Communication)	2後	2									1
English for GLA IV (Peace Studies)	2後	2									1	
English for GLA V (Sustainable Development Goals)	3前	2									2	
小計(19科目)		-	33	0	0	3	0	0	0	0	0	20
外国語科目	中国語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									10
	中国語Ⅰ(b)	2・4後	2									10
	スペイン語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									11
	スペイン語Ⅰ(b)	2・4後	2									11
	韓国語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									7
	韓国語Ⅰ(b)	2・4後	2									7
	フランス語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									5
	フランス語Ⅰ(b)	2・4後	2									5
	ドイツ語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									2
	ドイツ語Ⅰ(b)	2・4後	2									2
	ロシア語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									2
	ロシア語Ⅰ(b)	2・4後	2									2
	イタリア語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									3
	イタリア語Ⅰ(b)	2・4後	2									3
	アラビア語Ⅰ(a)	2・3・4前	2				1					1
	アラビア語Ⅰ(b)	2・4後	2				1					1
	ポルトガル語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									2
	ポルトガル語Ⅰ(b)	2・4後	2									2
	ベトナム語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									2
	ベトナム語Ⅰ(b)	2・4後	2									2
	インドネシア語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									2
	インドネシア語Ⅰ(b)	2・4後	2									2
	タイ語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									2
	タイ語Ⅰ(b)	2・4後	2									2
	中国語Ⅱ(a)	3・4前			1							5
	中国語Ⅱ(b)	4後			1							5
	スペイン語Ⅱ(a)	3・4前			1							3
	スペイン語Ⅱ(b)	4後			1							3
	韓国語Ⅱ(a)	3・4前			1							3
	韓国語Ⅱ(b)	4後			1							3
	フランス語Ⅱ(a)	3・4前			1							3
	フランス語Ⅱ(b)	4後			1							3
	ドイツ語Ⅱ(a)	3・4前			1							1
	ドイツ語Ⅱ(b)	4後			1							1
ロシア語Ⅱ(a)	3・4前			1							1	
ロシア語Ⅱ(b)	4後			1							1	
イタリア語Ⅱ(a)	3・4前			1							1	
イタリア語Ⅱ(b)	4後			1							1	
アラビア語Ⅱ(a)	3・4前			1		1					1	
アラビア語Ⅱ(b)	4後			1		1					1	
ポルトガル語Ⅱ(a)	3・4前			1							1	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
英語科目	Academic Reading (a)	1前①	1									2
	Academic Reading (b)	1後	2									2
	Academic Writing (a)	1前①	1									3
	Academic Writing (b)	1後	2									3
	Academic Discussions & Presentations (a)	1前①	1									3
	Academic Discussions & Presentations (b)	1後	2									3
	English for Academic Purposes (a)	1前	2				2					1
	English for Academic Purposes (b)	1後	2				2					1
	Self-Directed Learning	1前	1				1					2
	TOEFL ITP 演習	1後	1									1
	Critical Reading (a)	2前	2									3
	Critical Reading (b)	2後	2									3
	Advanced Writing (a)	2前	2					1				2
	Advanced Writing (b)	2後	2					1				2
	English for GLA I (Introduction to Global Issues)	2前	2					1				1
	English for GLA II (Media Literacy)	2前	2									1
	English for GLA III (Global Communication)	2後	2									1
English for GLA IV (Peace Studies)	2後	2									1	
English for GLA V (Sustainable Development Goals)	3前	2									2	
小計(19科目)		-	33	0	0	3	0	0	0	0	0	15
外国語科目	中国語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									10
	中国語Ⅰ(b)	2・4後	2									10
	スペイン語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									10
	スペイン語Ⅰ(b)	2・4後	2									10
	韓国語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									7
	韓国語Ⅰ(b)	2・4後	2									7
	フランス語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									5
	フランス語Ⅰ(b)	2・4後	2									5
	ドイツ語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									2
	ドイツ語Ⅰ(b)	2・4後	2									2
	ロシア語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									2
	ロシア語Ⅰ(b)	2・4後	2									2
	イタリア語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									3
	イタリア語Ⅰ(b)	2・4後	2									3
	アラビア語Ⅰ(a)	2・3・4前	2					1				1
	アラビア語Ⅰ(b)	2・4後	2					1				1
	ポルトガル語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									2
	ポルトガル語Ⅰ(b)	2・4後	2									2
	ベトナム語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									2
	ベトナム語Ⅰ(b)	2・4後	2									2
	インドネシア語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									2
	インドネシア語Ⅰ(b)	2・4後	2									2
	タイ語Ⅰ(a)	2・3・4前	2									2
	タイ語Ⅰ(b)	2・4後	2									2
	中国語Ⅱ(a)	3・4前					1					5
	中国語Ⅱ(b)	4後					1					5
	スペイン語Ⅱ(a)	3・4前					1					3
	スペイン語Ⅱ(b)	4後					1					3
	韓国語Ⅱ(a)	3・4前					1					3
	韓国語Ⅱ(b)	4後					1					3
	フランス語Ⅱ(a)	3・4前					1					3
	フランス語Ⅱ(b)	4後					1					3
	ドイツ語Ⅱ(a)	3・4前					1					1
	ドイツ語Ⅱ(b)	4後					1					1
ロシア語Ⅱ(a)	3・4前					1					1	
ロシア語Ⅱ(b)	4後					1					1	
イタリア語Ⅱ(a)	3・4前					1					1	
イタリア語Ⅱ(b)	4後					1					1	
アラビア語Ⅱ(a)	3・4前					1		1			1	
アラビア語Ⅱ(b)	4後					1		1			1	
ポルトガル語Ⅱ(a)	3・4前					1					1	

	講読(GS)(グローバル平和論)	2・4後		2		1														
	小計(11科目)	-	0	22	0	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
研究演習	研究演習Ⅰ	2後	2			4	4	2												
	研究演習Ⅱ	3前	2			4	4	2												
	研究演習Ⅲ	4通	4			4	4	2												
	卒業研究(キャットストーン・プロジェクト)	4通	4			4	4	2												
	小計(4科目)	-	12	0	0	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任									
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手										
合計(174科目)			-	67	208	36	7	4	3	0	0	111								
卒業要件及び履修方法																				
1. 以下の所定の科目別単位数を修得し、129単位以上修得すること。英語科目35単位(留学包括認定2単位含む)、選択外国語科目4単位、GLA基礎科目18単位、基礎教養科目:A群12単位(留学包括認定4単位含む)B群6単位、専門教養科目:30単位(留学包括認定10単位含む)、演習科目:基礎演習4単位、講読演習8単位、研究演習8単位のほか卒業研究4単位を修得すること。 2. 履修登録単位数の上限:必修のみ(1年次:前期16単位、後期19単位)、20単位(2年次前期・後期、3年次前期)、30単位(4年次前期・後期)とする。 3. 3年次後期留学包括認定:16単位(英語科目:2単位、基礎教養科目A群:4単位、専門教養科目:10単位)とする。																				

	講読(GS)(グローバル平和論)	2・4後		2		1														
	小計(11科目)	-	0	22	0	3	3	4	0	0	0	3								
研究演習	研究演習Ⅰ	2後	2			4	3	4												
	研究演習Ⅱ	3前	2			4	3	4												
	研究演習Ⅲ	4通	4			4	3	4												
	卒業研究(キャットストーン・プロジェクト)	4通	4			4	3	4												
	小計(4科目)	-	12	0	0	4	3	4	0	0	0	0								
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任									
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手										
合計(174科目)			-	67	208	36	5	3	5	0	0	110								
卒業要件及び履修方法																				
1. 以下の所定の科目別単位数を修得し、129単位以上修得すること。英語科目35単位(留学包括認定2単位含む)、選択外国語科目4単位、GLA基礎科目18単位、基礎教養科目:A群12単位(留学包括認定4単位含む)B群6単位、専門教養科目:30単位(留学包括認定10単位含む)、演習科目:基礎演習4単位、講読演習8単位、研究演習8単位のほか卒業研究4単位を修得すること。 2. 履修登録単位数の上限:必修のみ(1年次:前期16単位、後期19単位)、20単位(2年次前期・後期、3年次前期)、30単位(4年次前期・後期)とする。 3. 3年次後期留学包括認定:16単位(英語科目:2単位、基礎教養科目A群:4単位、専門教養科目:10単位)とする。																				

- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

・「中国語Ⅰ(a)」及び「中国語Ⅰ(b)」について、教育体制充実による兼任教員1名の増員に伴い、兼任・兼担の配置を、「兼9」から「兼10」にそれぞれ変更。

・「スペイン語Ⅰ(a)」及び「スペイン語Ⅰ(b)」について、クラス数増に伴い兼任教員を1名増員したため、兼任・兼担の配置を、「兼9」から「兼10」にそれぞれ変更。

・「韓国語Ⅰ(a)」及び「韓国語Ⅰ(b)」について、兼任教員1名の退職に伴い、兼任・兼担の配置を、「兼8」から「兼7」にそれぞれ変更。

・「フランス語Ⅰ(a)」及び「フランス語Ⅰ(b)」について、クラス数増に伴い、兼任教員を1名増員したため、兼任・兼担の配置を、「兼4」から「兼5」にそれぞれ変更。

・「ロシア語Ⅰ(a)」及び「ロシア語Ⅰ(b)」について、クラス数増に伴い、兼任教員を1名増員したため、兼任・兼担の配置を、「兼1」から「兼2」にそれぞれ変更。

・「ポルトガル語Ⅰ(a)」及び「ポルトガル語Ⅰ(b)」について、教育体制充実による兼任教員1名の増員に伴い、兼任・兼担の配置を、「兼1」から「兼2」にそれぞれ変更。

・「スペイン語Ⅲ(a)」及び「スペイン語Ⅲ(b)」について、クラス数増に伴い兼任教員1名を増員したため、兼任・兼担の配置を、「兼1」から「兼2」にそれぞれ変更。

・「グローバル・リベラルアーツ入門Ⅰ」について、専任准教授が教授に昇任したため、専任教員の配置を、「教授0」から「教授1」に、「准教授3」から「准教授2」にそれぞれ変更。

・「グローバル・リベラルアーツ入門Ⅱ」について、専任教授が専任への就任を辞退、また、専任准教授が教授に昇任したため、専任教員の配置を、「准教授2」から「准教授1」に、兼任・兼担の配置を、「兼0」から「兼1」にそれぞれ変更。

・「アドベンチャーコミュニケーションプログラム(GLA)」について、教育体制充実による兼任教員2名の増員に伴い、兼任・兼担の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。

・「歴史学Ⅰ」及び「歴史学Ⅱ」について、教育体制充実のため新たに専任教員の担当に伴い、専任教員の配置を、「講師0」から「講師1」にそれぞれ変更。

・「心理学Ⅰ」について、クラス数増に伴い、兼任教員1名を増員したため、兼任・兼担の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。

・「社会学Ⅰ」及び「社会学Ⅱ」について、クラス数増に伴い、兼任教員1名を増員したため、兼任・兼担の配置を、「兼2」から「兼3」にそれぞれ変更。

・「数的思考法」及び「デジタル・シズンシップ論」について、専任准教授が教授に昇任したため、専任教員の配置を、「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」にそれぞれ変更。

・「現代社会とイノベーション」について、専任准教授が教授に昇任したため、専任教員の配置を、「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」にそれぞれ変更。

・「デジタル・メディアと社会」及び「異文化コミュニケーション論」について、兼任教員の退職に伴い、専任の講師が担当することとなったため、専任教員の配置を、「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の配置を、「兼1」から「兼0」にそれぞれ変更。

・「地域とグローバル世界Ⅰ」について、専任教授が専任への就任を辞退したため、専任教員の配置を、「教授1」から「教授0」とし、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」にそれぞれ変更。

・「講読(SOC(現代社会とイノベーション))」について、専任准教授が教授に昇任したため、専任教員の配置を、「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」にそれぞれ変更。

・「講読(GS(地域とグローバル世界))」について、専任教授が専任への就任を辞退したため、専任教員の配置を、「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」にそれぞれ変更。

・「研究演習Ⅰ」、「研究演習Ⅱ」、「研究演習Ⅲ」及び「卒業研究(キャップストーン・プロジェクト)」について、専任教授の専任への就任辞退に伴い、新たに専任教授が担当したため専任教員の配置を「教授3」から「教授4」に変更。更に、専任准教授が教授に昇任したため、専任教員の配置を、「准教授4」から「准教授3」に変更。

・卒業要件及び履修方法の「2. 履修登録単位数の上限」について、1年次の取り扱いを追記した。

【令和4年度】

・「Academic Writing(a)」及び「Academic Writing(b)」について、クラス数増に伴い、専任教員を1名増員したため、教授の配置を「0」から「1」にそれぞれ変更。

・「English for Academic Purposes(a)」及び「English for Academic Purposes(b)」について、クラス数増に伴い、教育体制を見直したため、専任教授の配置を「2」から「1」に、兼任・兼担の配置を「1」から「2」にそれぞれ変更。

・「Self-Directed Learning」について、クラス数増に伴い、兼任教員を1名増員したため、兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。

・「Critical Reading(a)」及び「Critical Reading(b)」について、教育体制の充実に伴い、専任教員を配置したため、専任教授の配置を「0」から「1」に、兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」にそれぞれ変更。

・「Advanced Writing(a)」及び「Advanced Writing(b)」について、教育体制の見直しに伴い、兼任教員の連携を強化したため、兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」にそれぞれ変更。

・「中国語Ⅰ(a)」及び「中国語Ⅰ(b)」について、教育体制充実に伴い、兼任教員1名を増員したため、兼任・兼担の配置を、「9」から「10」にそれぞれ変更。

・「韓国語Ⅰ(a)」及び「韓国語Ⅰ(b)」について、兼任教員1名の退職に伴い、兼任・兼担の配置を、「8」から「7」にそれぞれ変更。

・「フランス語Ⅰ(a)」及び「フランス語Ⅰ(b)」について、クラス数増に伴い、兼任教員を1名増員したため、兼任・兼担の配置を、「4」から「5」にそれぞれ変更。

・「ロシア語Ⅰ(a)」及び「ロシア語Ⅰ(b)」について、クラス数増に伴い、兼任教員を1名増員したため、兼任・兼担の配置を、「1」から「2」にそれぞれ変更。

・「ポルトガル語Ⅰ(a)」及び「ポルトガル語Ⅰ(b)」について、教育体制の充実に伴い、兼任教員1名を増員したため、兼任・兼担の配置を、「1」から「2」にそれぞれ変更。

・「スペイン語Ⅲ(a)」及び「スペイン語Ⅲ(b)」について、クラス数増に伴い兼任教員1名を増員したため、兼任・兼担の配置を、「1」から「2」にそれぞれ変更。

・「韓国語Ⅲ(a)」及び「韓国語Ⅲ(b)」について、クラス数増に伴い、兼任教員を増員したため、兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」にそれぞれ変更。

・「グローバル・ディスカバリーⅠ」及び「グローバル・ディスカバリーⅡ」について、教育体制の充実に伴い、専任教員を増員したため、准教授の配置を「0」から「2」に、講師の配置を「0」から「2」にそれぞれ変更。

・「グローバル・ディスカバリー(フィールドワーク)」について、教育体制の充実に伴い、専任教員を増員したため、准教授の配置を「0」から「2」に、講師の配置を「0」から「2」にそれぞれ変更。

・「グローバル・リベラルアーツ入門Ⅰ」について、専任教員の昇任に伴い、教授の配置を「0」から「2」に、講師の配置を「3」から「1」にそれぞれ変更。

・「グローバル・リベラルアーツ入門Ⅱ」について、専任教員の昇任に伴い、准教授の配置を「2」から「1」に変更。

・「キャリアデザイン(GLA)」について、兼任教員が専任教員となったため、教授の配置を「0」から「1」に変更。

・「アドベンチャーコミュニケーションプログラム(GLA)」について、教育体制の充実に伴い、兼任教員2名が増員したため、兼任・兼担の配置を、「1」から「3」に変更。

・「歴史学Ⅰ」及び「歴史学Ⅱ」について、教育体制の充実に伴い、新たに専任教員が担当したため、専任教員の配置を、「講師0」から「講師1」にそれぞれ変更。

・「歴史学Ⅱ」について、兼任教員数を誤っていたため、兼任・兼任教員数の配置を「3」から「2」に修正。

・「哲学Ⅰ」及び「哲学Ⅱ」について、専任教員の昇任に伴い、教授の配置を「0」から「1」にそれぞれ変更。

・「倫理学Ⅰ」及び「倫理学Ⅱ」について、専任教員が昇任したため、准教授の配置を「0」から「1」にそれぞれ変更。

・「心理学Ⅰ」について、クラス数増に伴い、兼任教員1名を増員したため、兼任・兼担の配置を、「1」から「2」に変更。

・「教育学」について、専任教員の昇任に伴い、准教授の配置を「0」から「1」に変更。

・「経済学Ⅰ」及び「経済学Ⅱ」について、教育体制充実に伴い、兼任教員1名を増員したため、兼任・兼担の配置を、「1」から「2」にそれぞれ変更。

・「数的思考法」及び「デジタル・シズンシップ論」について、専任教員の昇任に伴い、教授の配置を、「0」から「1」に変更。

・「芸術文化論Ⅱ」について、専任教員の昇任に伴い、准教授の配置を「0」から「1」に変更。

・「人間と思想」について、専任教員の昇任に伴い、教授の配置を「0」から「1」に変更。

・「共生社会論」について、専任教員の昇任に伴い、准教授の配置を「0」から「1」に変更。

・「社会と多様性Ⅱ」について、専任教員の昇任に伴い、准教授の配置を「0」から「1」に変更。

・「現代社会とイノベーション」について、専任教員の昇任に伴い、教授の配置を、「0」から「1」に変更。

・「デジタル・メディアと社会」及び「異文化コミュニケーション論」について、兼任教員の退職に伴い、専任の講師が担当することとなったため、講師の配置を、「0」から「1」に変更。

・「地域とグローバル世界Ⅰ」について、専任教授が専任への就任を辞退したため、兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。

・「講読(HUM(芸術文化))」について、専任教員の昇任に伴い、准教授の配置を「0」から「1」に変更。

・「講読(HUM(文学/思想))」について、専任教員の昇任に伴い、教授の配置を「0」から「1」に変更。

・「講読(SOC(社会と多様性))」について、専任教員の昇任に伴い、准教授の配置を「0」から「1」に変更。

・「講読(SOC(現代社会とイノベーション))」について、専任教員の昇任に伴い、教授の配置を、「0」から「1」に変更。

・「講読(GS(地域とグローバル世界))」について、専任教授が専任への就任を辞退したため、兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。

・「研究演習Ⅰ」、「研究演習Ⅱ」、「研究演習Ⅲ」及び「卒業研究(キャップストーン・プロジェクト)」について、専任教員の昇任に伴い、「教授」の配置を「3」から「4」に、「講師」の配置を「4」から「2」にそれぞれ変更。

・卒業要件及び履修方法の「2. 履修登録単位数の上限」について、1年次の取り扱いを追記した。

【令和5年度】

- ・「Academic Writing (a)」について、開講クラス数の削減及び1教員が複数クラスを担当することとしたため、「教授1」を「教授0」に、「兼任・兼任」を「兼3」から「兼2」に変更
- ・「Academic Writing (b)」について、開講クラス数の削減及び1教員が複数クラスを担当することとしたため、「教授1」を「教授0」に、「兼任・兼任」を「兼3」から「兼2」に変更
- ・「Self-Directed Learning」について、開講クラス数の削減及び1教員が複数のクラスを担当することとしたため、「教授1」を「教授0」に変更
- ・「Advanced Writing (a)」について、1教員が複数クラスを担当することとしたため、「兼任・兼任」を「兼3」から「兼2」に変更
- ・「Advanced Writing (b)」について、1教員が複数クラスを担当することとしたため、「兼任・兼任」を「兼3」から「兼2」に変更
- ・「English for GLA I (Introduction to Global Issues)」について、1教員が複数クラスを担当することとしたため、「教授1」を「教授0」に変更
- ・「English for GLA II (Media Literacy)」について、教育体制充実による「兼任・兼任」を「兼1」から「兼2」に変更
- ・「English for GLA V (Sustainable Development Goals)」について、1教員が複数クラスを担当することとしたため、「兼任・兼任」を「兼2」から「兼1」に変更
- ・「中国語Ⅰ(a)」について、1教員が複数クラスを担当することとしたため、「兼任・兼任」を「兼10」から「兼9」に変更
- ・「中国語Ⅰ(b)」について、1教員が複数クラスを担当することとしたため、「兼任・兼任」を「兼10」から「兼9」に変更
- ・「スペイン語Ⅰ(a)」について、1教員が複数クラスを担当することとしたため、「兼任・兼任」を「兼11」から「兼10」に変更
- ・「スペイン語Ⅰ(b)」について、1教員が複数クラスを担当することとしたため、「兼任・兼任」を「兼11」から「兼10」に変更
- ・「韓国語Ⅰ(a)」について、教員がクラス分担の変更に伴い、「兼任・兼任」を「兼7」から「兼8」に変更
- ・「韓国語Ⅰ(b)」について、教員がクラス分担の変更に伴い、「兼任・兼任」を「兼7」から「兼8」に変更
- ・「フランス語Ⅰ(a)」について、1教員が複数クラスを担当することとしたため、「兼任・兼任」を「兼5」から「兼4」に変更
- ・「フランス語Ⅰ(b)」について、1教員が複数クラスを担当することとしたため、「兼任・兼任」を「兼5」から「兼4」に変更
- ・「フランス語Ⅱ(a)」について、開講クラス数の削減により「兼任・兼任」の「兼3」を「兼2」に変更
- ・「フランス語Ⅱ(b)」について、開講クラス数の削減により「兼任・兼任」の「兼3」を「兼2」に変更
- ・「スペイン語Ⅲ(a)」について、1教員が複数クラスを担当することとしたため、「兼任・兼任」を「兼2」から「兼1」に変更
- ・「スペイン語Ⅲ(b)」について、1教員が複数クラスを担当することとしたため、「兼任・兼任」を「兼2」から「兼1」に変更
- ・「韓国語Ⅲ(a)」について、1教員が複数クラスを担当することとしたため、「兼任・兼任」を「兼2」から「兼1」に変更
- ・「韓国語Ⅲ(b)」について、1教員が複数クラスを担当することとしたため、「兼任・兼任」を「兼2」から「兼1」に変更
- ・「教育学」について、教育体制充実による「准教授1」を「准教授0」に、「兼任・兼任」を「兼0」から「兼2」に変更
- ・「アカデミック日本語Ⅰ」について、教育体制充実による「兼任・兼任」を「兼0」から「兼1」に変更
- ・「アカデミック日本語Ⅱ」について、教育体制充実による「兼任・兼任」を「兼0」から「兼1」に変更
- ・「講読(HUM(宗教文化))」について、教育体制充実による「准教授0」から「准教授1」に変更
- ・「講読(SOC(言語・文化とコミュニケーション))」について、教育体制充実による「教授1」から「講師1」に変更
- ・「講読(GS(地域とグローバル世界))」について、開講クラス数の削減により「兼任・兼任」の「兼1」を「兼0」に変更

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
34 科目	104 科目	36 科目	174 科目	34 科目 [0]	104 科目 [0]	36 科目 [0]	174 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	地域とグローバル世界 I	2	2・3・4前		選択	時間割編成上、代替措置無
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、配当年次を複数設けており、学生の履修計画等を考慮し、令和5年度においては担当教員の時間割編成上未開講となったが、来年度より開講するよう調整している。
未開講科目の情報は、履修登録前の段階で開講状況をシラバスで確認でき、余裕をもって周知している。また、年次毎の履修バランスや学生の履修登録単位数の上限を配慮して調整しており、学生の履修への影響は出ていない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{1}{174} = \boxed{0.57} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	37,680 m ²	0 m ²	0 m ²	37,680 m ²				
	運動場用地	30,223 m ²	0 m ²	0 m ²	30,223 m ²				
	小 計	67,903 m ²	0 m ²	0 m ²	67,903 m ²				
	そ の 他	30,938 m ²	0 m ²	0 m ²	30,938 m ²				
	合 計	98,841 m ²	0 m ²	0 m ²	98,841 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部設置のため、3号館を改修し教室・研究室を整備。令和2年12月17日校地・校舎等の変更届出済み。(3)			
		42,140 m ² 42,083 m ² (42,140 m ²) (42,083 m²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	42,140 m ² 42,083 m ² (42,140 m ²) (42,083 m²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	(2)の備考欄に同じ(3) 大学全体			
	120 室	0 室	2 室	5 室 (補助職員 6 人)	1 室 (補助職員 5 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			教員数増に伴う用途変更による室数の増。(4) (2)の備考欄に同じ(3)			
	大学全体		157 152 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 図書は、除籍の進行により調査時と完成年度の計画を修正。 学術雑誌は、外国語学部教員の希望により韓国語文献データベースの切替(変更)を行ったため調査時が増加。また、今後の雑誌購読(電子ジャーナルを含む)の見直しにより完成年度の計画を修正。 (4) 学術雑誌(電子ジャーナル)の韓国語文献データベース(3,910誌)について、予定していた助成金が不採択になったことに伴う減(3)	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	グローバル・リベラル アーツ 学部	135,000 [53,000] 138,000 [53,000] (132,000 [52,000])	3,430 [3,175] 7,350 [7,095] (4,670 [4,420]) (3,430 [3,175])	2,705 [2,705] 6,630 [6,625] (3,950 [3,950]) (2,705 [2,705])	1,900 (1,900)	0 0	0 0		
	計	135,000 [53,000] 138,000 [53,000] (132,000 [52,000]) (135,000)	3,430 [3,175] 7,350 [7,095] (4,670 [4,420]) (3,430 [3,175])	2,705 [2,705] 6,630 [6,625] (3,950 [3,950]) (2,705 [2,705])	1,900 (1,900)	0 0	0 0		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			大学全体		
	3,820 m ²		350 席	193,583 冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	3,223 m ²		トレーニングルーム		テニスコート5面				
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設前年度において、図書及び設備を充実させた。このため、設備費については開設年度の額を減額した。これによる学部の教育・研究活動には支障をきたさない。(3)
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	3,943千円	3,500千円	3,600千円	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	42,701千円	1,601千円	6,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,600千円	1,480千円	900千円	1,480千円	— 千円	— 千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	神田外語大学										0	0	0	0	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考		
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度				
外国語学部	4	861	25 2年次 71 3年次	3,693	-	1.04	-	1.08	-		昭和62				
英米語学科	4	340	10 2年次 40 3年次	1,530	学士 (英語・地域文化)	1.06	-	1.10	-	令和3	昭和62	千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1	令和3年度から入学定員変更 (400→340)		
アジア言語学科	4	196	10 3年次	776	-	1.02	-	1.05	-	令和3	平成24	同上	令和3年度から入学定員変更 (28→56)		
中国語専攻		56	2 3年次	228	学士 (中国語・地域文化)	1.11	-	1.13	-		平成24				
韓国語専攻		56	2 3年次	200	学士 (韓国語・地域文化)	1.13	-	1.18	-	令和3	平成24		令和3年度から入学定員変更 (28→56)		
インドネシア語専攻		28	2 3年次	116	学士 (インドネシア語・地域文化)	0.98	-	0.99	-		平成24				
ベトナム語専攻		28	2 3年次	116	学士 (ベトナム語・地域文化)	0.79	-	0.87	-		平成24				
タイ語専攻		28	2 3年次	116	学士 (タイ語・地域文化)	0.90	-	0.88	-		平成24				
イペロアメリカ言語学科	4	128	6 3年次	524	-	0.96	-	1.00	-		平成24	同上			
スペイン語専攻		84	6 3年次	348	学士 (スペイン語・地域文化)	0.98	-	1.02	-		平成24				
ブラジル・ポルトガル語専攻		44	-	176	学士 (ポルトガル語・地域文化)	0.91	-	0.96	-		平成24				
国際コミュニケーション学科	4	197	15 2年次	863	-	1.06	-	1.12	-		平成13	同上			
国際コミュニケーション専攻		167	10 3年次	728	学士 (国際コミュニケーション)	1.05	-	1.13	-		平成13				
国際ビジネスキャリア専攻		30	5 2年次	135	学士 (国際コミュニケーション)	1.12	-	1.06	-		平成13				
グローバル・リベラルアーツ学部	4	60	-	180	-	1.14	-	1.11	-		令和3				
グローバル・リベラルアーツ学科	4	60	-	180	学士 (グローバル・リベラルアーツ)	1.14	-	1.11	-		令和3	同上			
大学全体	4	921	96	3,873	-	1.04	-	1.08	-	-	-	-			

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<グローバル・リベラルアーツ学部 グローバル・リベラルアーツ学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【認可時又は届出時】		【令和3年度】		【令和4年度】		【令和5年度】		【令和6年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) 年 月 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) 年 月 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) 年 月 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) 年 月 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) 年 月 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専 教授	Robert DeSilva <令和3年4月> MA in Linguistics (米国)	専 教授	Robert DeSilva <令和3年4月> MA in Linguistics	専 教授	Robert DeSilva <令和3年4月> MA in Linguistics	専 教授	Robert DeSilva <令和3年4月> MA in Linguistics		
	English for Academic Purposes (a) English for Academic Purposes (b) グローバル・ディスカバリー I グローバル・ディスカバリー II グローバル・ディスカバリー (フィールドワーク)		English for Academic Purposes (a) English for Academic Purposes (b) グローバル・ディスカバリー I グローバル・ディスカバリー II グローバル・ディスカバリー (フィールドワーク) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		Critical Reading (a) Critical Reading (b)		Critical Reading (a) Critical Reading (b)		
専 准教授	石井 雅章 <令和3年4月> 博士 (学術)	専 准教授	石井 雅章 <令和3年4月> 博士 (学術)	専 准教授	石井 雅章 <令和3年4月> 博士 (学術)	専 准教授	石井 雅章 <令和3年4月> 博士 (学術)		
	グローバル・リベラルアーツ入門 I グローバル・リベラルアーツ入門 II 教務的思考法 デジタル・シチズンシップ論 現代社会とイノベーション 講義(SOC) (現代社会とイノベーション) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		グローバル・リベラルアーツ入門 I グローバル・リベラルアーツ入門 II 教務的思考法 デジタル・シチズンシップ論 現代社会とイノベーション 講義(SOC) (現代社会とイノベーション) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		グローバル・リベラルアーツ入門 I グローバル・リベラルアーツ入門 II 教務的思考法 デジタル・シチズンシップ論 現代社会とイノベーション 講義(SOC) (現代社会とイノベーション) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		教務的思考法 デジタル・シチズンシップ論 現代社会とイノベーション 講義(SOC) (現代社会とイノベーション) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		
専 教授	興梠 一郎 <令和3年4月> 修士 (国際学)	兼 教授	興梠 一郎 <令和3年4月> 修士 (国際学)	兼 教授	興梠 一郎 <令和3年4月> 修士 (国際学)	専 教授	興梠 一郎 <令和3年4月> 修士 (国際学)		
	グローバル・リベラルアーツ入門 II 地域とグローバル世界 I 講義(GS) (地域とグローバル世界) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		グローバル・リベラルアーツ入門 II 地域とグローバル世界 I 講義(GS) (地域とグローバル世界)		グローバル・リベラルアーツ入門 II 地域とグローバル世界 I 講義(GS) (地域とグローバル世界)		グローバル・リベラルアーツ入門 II 地域とグローバル世界 I 講義(GS) (地域とグローバル世界)		
専 教授	阪田 恭代 <令和3年4月> 修士 (法学)	専 教授	阪田 恭代 <令和3年4月> 修士 (法学)	専 教授	阪田 恭代 <令和3年4月> 修士 (法学)	専 教授	阪田 恭代 <令和3年4月> 修士 (法学)		
	グローバル・リベラルアーツ入門 II グローバル平和論 講義(GS) (グローバル平和論) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		グローバル・リベラルアーツ入門 II グローバル平和論 講義(GS) (グローバル平和論) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		グローバル・リベラルアーツ入門 II グローバル平和論 講義(GS) (グローバル平和論) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		グローバル・リベラルアーツ入門 II グローバル平和論 講義(GS) (グローバル平和論) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		
専 教授	Joanne Mynard <令和3年4月> Doctor of Education (英国)	専 教授	Joanne Mynard <令和3年4月> Doctor of Education (英国)	専 教授	Joanne Mynard <令和3年4月> Doctor of Education (英国)	専 教授	Joanne Mynard <令和3年4月> Doctor of Education (英国)		
	Self-Directed Learning English for GLA I (Introduction to Global Issues)		Self-Directed Learning English for GLA I (Introduction to Global Issues)		Self-Directed Learning English for GLA I (Introduction to Global Issues)		Self-Directed Learning English for GLA I (Introduction to Global Issues)		
専 教授	Park Siwon <令和3年4月> Ph. D. in Second Language Acquisition (米国)	専 教授	Park Siwon <令和3年4月> Ph. D. in Second Language Acquisition (米国)	専 教授	Park Siwon <令和3年4月> Ph. D. in Second Language Acquisition (米国)	専 教授	Park Siwon <令和3年4月> Ph. D. in Second Language Acquisition (米国)		
	English for Academic Purposes (a) English for Academic Purposes (b) Advanced Writing (a) Advanced Writing (b) グローバル・リベラルアーツ入門 II 言語・文化とコミュニケーション 講義(SOC) (言語・文化とコミュニケーション) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		English for Academic Purposes (a) English for Academic Purposes (b) Advanced Writing (a) Advanced Writing (b) グローバル・リベラルアーツ入門 II 言語・文化とコミュニケーション 講義(SOC) (言語・文化とコミュニケーション) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		Academic Writing (a) Academic Writing (b) English for Academic Purposes (a) English for Academic Purposes (b) グローバル・リベラルアーツ入門 II 言語・文化とコミュニケーション 講義(SOC) (言語・文化とコミュニケーション) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		Academic Writing (a) Academic Writing (b) English for Academic Purposes (a) English for Academic Purposes (b) グローバル・リベラルアーツ入門 II 言語・文化とコミュニケーション 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		
				専任 特任 教授	兼田 真一 <令和4年4月> Master of Business Administration (英国)	専任 特任 教授	兼田 真一 <令和4年4月> Master of Business Administration (英国)		
					キャリアデザイン (GLA)		キャリアデザイン (GLA)		
専 准教授	植田 かつり <令和3年4月> 博士 (哲学)	専 准教授	植田 かつり <令和3年4月> 博士 (哲学)	専 准教授	植田 かつり <令和3年4月> 博士 (哲学)	専 准教授	植田 かつり <令和3年4月> 博士 (哲学)		
	グローバル・リベラルアーツ入門 I 哲学 I 哲学 II 人間と思想 講義(HUM) (文学/思想) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		グローバル・リベラルアーツ入門 I 哲学 I 哲学 II 人間と思想 講義(HUM) (文学/思想) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		グローバル・リベラルアーツ入門 I 哲学 I 哲学 II 人間と思想 講義(HUM) (文学/思想) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		グローバル・リベラルアーツ入門 I 哲学 I 哲学 II 人間と思想 講義(HUM) (文学/思想) 研究演習 I 研究演習 II 研究演習 III 卒業研究 (キャブストーン・プロジェクト)		

兼担	教授	青山 治城 <令和4年4月> 博士(法学)	兼担	特任教授	青山 治城 <令和4年4月> 博士(法学)	兼担	特任教授	青山 治城 <令和4年4月> 博士(法学)	兼任	講師	青山 治城 <令和4年4月> 博士(法学)				
		法学Ⅰ 法学Ⅱ 憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ			憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ			憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ			憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ				
兼担	特任教授	市瀬 良行 <令和3年4月> 学士(体育学)	兼担	特任教授	市瀬 良行 <令和3年4月> 学士(体育学)	兼担	特任教授	市瀬 良行 <令和3年4月> 学士(体育学)	兼担	特任教授	市瀬 良行 <令和3年4月> 学士(体育学)				
		アドベンチャーコミュニケーションプログラム (GLA)			アドベンチャーコミュニケーションプログラム (GLA)			アドベンチャーコミュニケーションプログラム (GLA)			アドベンチャーコミュニケーションプログラム (GLA)				
兼担	教授	伊藤 奏子 <令和3年4月> Ph. D. in Second Language Acquisition (米園)	兼担	教授	伊藤 奏子 <令和3年4月> Ph. D. in Second Language Acquisition (米園)	兼担	教授	伊藤 奏子 <令和3年4月> Ph. D. in Second Language Acquisition (米園)	兼担	教授	伊藤 奏子 <令和3年4月> Ph. D. in Second Language Acquisition (米園)				
		English for Academic Purposes (a) English for Academic Purposes (b) English for GLA V (Sustainable Development Goals)			English for Academic Purposes (a) English for Academic Purposes (b) English for GLA V (Sustainable Development Goals)			English for Academic Purposes (a) English for Academic Purposes (b) English for GLA V (Sustainable Development Goals)			English for Academic Purposes (a) English for Academic Purposes (b)				
兼担	教授	春日 淳 <令和5年4月> 修士(文学)													
		ベトナム語Ⅱ(a) ベトナム語Ⅱ(b)													
兼担	教授	権 容環 <令和4年4月> 문학박사(韓国)	兼担	教授	権 容環 <令和4年4月> 문학박사(韓国)	兼担	教授	権 容環 <令和4年4月> 문학박사(韓国)	兼担	教授	権 容環 <令和4年4月> 문학박사(韓国)				
		韓国語Ⅰ(a) 韓国語Ⅰ(b)			韓国語Ⅰ(a) 韓国語Ⅰ(b)			韓国語Ⅰ(a) 韓国語Ⅰ(b)			韓国語Ⅰ(a) 韓国語Ⅰ(b)				
兼担	特任教授	柴田 真一 <令和3年9月> Master of Business Administration (英国)	兼担	特任教授	柴田 真一 <令和3年9月> Master of Business Administration (英国)										
		キャリアデザイン (GLA)			キャリアデザイン (GLA)										
兼担	教授	平 香織 <令和4年4月> 博士(国際文化)	兼担	教授	平 香織 <令和4年4月> 博士(国際文化)				兼担	教授	平 香織 <令和4年4月> 博士(国際文化)				
		韓国語Ⅰ(a) 韓国語Ⅰ(b) 言語学Ⅰ 言語学Ⅱ			韓国語Ⅰ(a) 韓国語Ⅰ(b)						韓国語Ⅰ(a) 韓国語Ⅰ(b)				
兼担	教授	武田 明典 <令和4年9月> Ph. D. in Educational Psychology (米園)	兼担	教授	武田 明典 <令和4年4月> Ph. D. in Educational Psychology (米園)	兼担	教授	武田 明典 <令和4年4月> Ph. D. in Educational Psychology (米園)	兼担	教授	武田 明典 <令和4年4月> Ph. D. in Educational Psychology (米園)				
		心理学Ⅱ			心理学Ⅰ 心理学Ⅱ			心理学Ⅰ 心理学Ⅱ			心理学Ⅰ 心理学Ⅱ				
兼担	教授	花澤 聖子 <令和3年4月> 修士(国際学)	兼担	教授	花澤 聖子 <令和3年4月> 修士(国際学)										
		中国語Ⅰ(a) 中国語Ⅰ(b)			中国語Ⅰ(a) 中国語Ⅰ(b)										
兼担	教授	Philip Murphy <令和3年4月> Doctorate of Applied Linguistics (豪)	兼担	教授	Philip Murphy <令和3年4月> Doctorate of Applied Linguistics (豪)	兼担	教授	Philip Murphy <令和3年4月> Doctorate of Applied Linguistics (豪)	兼担	教授	Philip Murphy <令和3年4月> Doctorate of Applied Linguistics (豪)				
		Academic Writing (a) Academic Writing (b) Academic Discussions & Presentations (a) Academic Discussions & Presentations (b) Advanced Writing (a) Advanced Writing (b)			Academic Writing (a) Academic Writing (b) Academic Discussions & Presentations (a) Academic Discussions & Presentations (b) Advanced Writing (a) Advanced Writing (b)			Academic Writing (a) Academic Writing (b) Academic Discussions & Presentations (a) Academic Discussions & Presentations (b) Advanced Writing (a) Advanced Writing (b)			Academic Writing (a) Academic Writing (b) Academic Discussions & Presentations (a) Academic Discussions & Presentations (b)				
兼担	教授	松井 佳子 <令和3年4月> Ph. D. in Comparative Literature (米園)	兼担	教授	松井 佳子 <令和3年4月> Ph. D. in Comparative Literature (米園)	兼担	教授	松井 佳子 <令和3年4月> Ph. D. in Comparative Literature (米園)	兼担	教授	松井 佳子 <令和3年4月> Ph. D. in Comparative Literature (米園)				
		グローバル・リベラルアーツ入門Ⅰ 人間と文学 社会と多様性Ⅰ			グローバル・リベラルアーツ入門Ⅰ 人間と文学 社会と多様性Ⅰ			グローバル・リベラルアーツ入門Ⅰ 社会と多様性Ⅰ			人間と文学 社会と多様性Ⅰ				
兼担	学長	宮内 孝久 <令和5年4月> 学士(法学)	兼担	学長	宮内 孝久 <令和5年4月> 学士(法学)	兼担	学長	宮内 孝久 <令和5年4月> 学士(法学)	兼担	学長	宮内 孝久 <令和5年4月> 学士(法学)				
		グローバル・キャリア			グローバル・キャリア			グローバル・キャリア			グローバル・キャリア				
兼担	教授	矢部 富美枝 <令和4年4月> 修士(心理学)	兼担	教授	矢部 富美枝 <令和4年4月> 修士(心理学)	兼担	教授	矢部 富美枝 <令和4年4月> 修士(心理学)							
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ			心理学Ⅰ 心理学Ⅱ			心理学Ⅰ 心理学Ⅱ							
兼担	教授	吉村 稔子 <令和4年4月> 修士(芸術学)	兼担	教授	吉村 稔子 <令和4年4月> 修士(芸術学)	兼担	教授	吉村 稔子 <令和4年4月> 修士(芸術学)	兼担	教授	吉村 稔子 <令和4年4月> 修士(芸術学)				
		美術史学Ⅰ 美術史学Ⅱ			美術史学Ⅰ 美術史学Ⅱ			美術史学Ⅰ 美術史学Ⅱ			美術史学Ⅰ 美術史学Ⅱ				

兼任	講師	全 相律 ＜令和4年4月＞ 修士(言語学)		兼任	専任 講師	全 相律 ＜令和4年4月＞ 修士(言語学)	兼任	専任 講師	全 相律 ＜令和4年4月＞ 修士(言語学)			
		韓国語 I (a) 韓国語 I (b)				韓国語 I (a) 韓国語 I (b)			韓国語 I (a) 韓国語 I (b)			
兼任	講師	(村上) 全 民 ＜令和6年4月＞ 学士(文学)(中国)		兼任	講師	(村上) 全 民 ＜令和4年4月＞ 学士(文学)(中国)		兼任	講師	(村上) 全 民 ＜令和4年4月＞ 学士(文学)(中国)		
		中国語 III (a) 中国語 III (b)				中国語 I (a) 中国語 I (b) 中国語 III (a) 中国語 III (b)			中国語 I (a) 中国語 I (b) 中国語 III (a) 中国語 III (b)			
兼任	講師	徐 ミンジョン ＜令和4年4月＞ 修士(言語学)		兼任	講師	徐 ミンジョン ＜令和4年4月＞ 修士(言語学)						
		韓国語 I (a) 韓国語 I (b) 韓国語 II (a) 韓国語 II (b) 韓国語 III (a) 韓国語 III (b)				韓国語 I (a) 韓国語 I (b) 韓国語 II (a) 韓国語 II (b) 韓国語 III (a) 韓国語 III (b)						
				兼任	講師	高橋 明弘 ＜令和4年4月＞ 修士(法学)		兼任	講師	高橋 明弘 ＜令和4年4月＞ 修士(法学)		
						法学 I 法学 II			法学 I 法学 II			
				兼任	講師	高橋 華入 ＜令和4年4月＞ 修士(言語学)		兼任	講師	高橋 華入 ＜令和4年4月＞ 修士(言語学)		
						韓国語 I (a) 韓国語 I (b)			韓国語 I (a) 韓国語 I (b)			
				兼任	講師	多田 直 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)		兼任	講師	多田 直 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)		
						中国語 I (a) 中国語 I (b)			中国語 I (a) 中国語 I (b)			
兼任	講師	土田 宏成 ＜令和4年9月＞ 博士(文学)										
		歴史学 II										
兼任	客員 教授	Timothy MURPHEY ＜令和4年9月＞ Ph. D. in Applied Linguistics (瑞)		兼任	客員 教授	Timothy MURPHEY ＜令和4年9月＞ Ph. D. in Applied Linguistics (瑞)		兼任	客員 教授	Timothy MURPHEY ＜令和4年9月＞ Ph. D. in Applied Linguistics (瑞)		
		English for GLA IV (Peace Studies)				English for GLA IV (Peace Studies)			English for GLA IV (Peace Studies)			
兼任	講師	陶 琳 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)		兼任	講師	陶 琳 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)		兼任	講師	陶 琳 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)		
		中国語 I (a) 中国語 I (b) 中国語 II (a) 中国語 II (b)				中国語 I (a) 中国語 I (b) 中国語 II (a) 中国語 II (b)			中国語 I (a) 中国語 I (b) 中国語 II (a) 中国語 II (b)			
兼任	講師	豊田 圭一 ＜令和3年4月＞ MA in Positive Leadership and Strategy(西)		兼任	客員 教授	豊田 圭一 ＜令和3年4月＞ MA in Positive Leadership and Strategy(西)		兼任	客員 教授	豊田 圭一 ＜令和3年4月＞ MA in Positive Leadership and Strategy(西)		
		グローバル・ディスカバリー I グローバル・ディスカバリー II				グローバル・ディスカバリー I グローバル・ディスカバリー II			グローバル・ディスカバリー I グローバル・ディスカバリー II			
兼任	講師	豊丸 敦子 ＜令和4年4月＞ 修士(言語学)		兼任	講師	豊丸 敦子 ＜令和5年4月＞ 修士(言語学)		兼任	講師	豊丸 敦子 ＜令和5年4月＞ 修士(言語学)		
		スペイン語 I (a) スペイン語 I (b) スペイン語 II (a) スペイン語 II (b)				スペイン語 II (a) スペイン語 II (b)			スペイン語 I (a) スペイン語 I (b) スペイン語 II (a) スペイン語 II (b)			
兼任	講師	中澤 栄輔 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)		兼任	講師	中澤 栄輔 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)		兼任	講師	中澤 栄輔 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)		
		物理学 I 物理学 II 自然科学概論 I 自然科学概論 II				物理学 I 物理学 II 自然科学概論 I 自然科学概論 II			物理学 I 物理学 II 自然科学概論 I 自然科学概論 II			
兼任	講師	仲町 知帆 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)		兼任	講師	仲町 知帆 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)		兼任	講師	仲町 知帆 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)		
		スペイン語 I (a) スペイン語 I (b)				スペイン語 I (a) スペイン語 I (b)			スペイン語 I (a) スペイン語 I (b)			
兼任	講師	Patricia ROSALES ＜令和4年4月＞ Le Diplôme national de docteur en science politique (仏)						兼任	講師	Patricia ROSALES ＜令和5年4月＞ Le Diplôme national de docteur en science politique (仏)		
		スペイン語 I (a) スペイン語 I (b) スペイン語 III (a) スペイン語 III (b)							スペイン語 I (a) スペイン語 I (b)			
兼任	講師	Javier CAMACHO CRUZ ＜令和4年4月＞ Master en Humanidades(西)		兼任	講師	Javier CAMACHO CRUZ ＜令和4年4月＞ Master en Humanidades(西)		兼任	講師	Javier CAMACHO CRUZ ＜令和4年4月＞ Master en Humanidades(西)		
		スペイン語 I (a) スペイン語 I (b)				スペイン語 I (a) スペイン語 I (b)			スペイン語 I (a) スペイン語 I (b)			

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・専任のRobert DeSilva 教授が、専任の興梠 一郎教授の専任への就任辞退に伴い、同教授が担当予定であった、「研究演習Ⅰ」、「研究演習Ⅱ」、「研究演習Ⅲ」及び「卒業研究（キャップストーン・プロジェクト）」の授業科目担当を新たに担当。
- ・専任の石井 雅章准教授の昇任に伴い、職名を教授に変更。
- ・専任の釜田 友里江講師が、兼担の金 暲和准教授及び塙（松本）幸枝講師の退職に伴い、新たに「異文化コミュニケーション論」及び「デジタル・メディアと社会」の授業科目を担当。
- ・専任の鈴木 健太講師が、教育体制充実のため、新たに「歴史学Ⅰ」の授業科目を担当したほか、兼任の土田 宏成講師の退職に伴い、新たに「歴史学Ⅱ」の授業科目を担当。
- ・兼担の青山 治城教授の職名が、特任教授に変更。
- ・兼担の武田 明典教授が、「心理学Ⅰ」のクラス数増に伴い、新たに同授業科目を担当。また、これにより就任年月を修正した。
- ・兼担の黒田 龍之介特任教授が、「ロシア語Ⅰ(a)」及び「ロシア語Ⅰ(b)」のクラス数増に伴い、新たにこれらの授業科目を担当したほか、兼任の平 香織教授に代わり、新たに「言語学Ⅰ」及び「言語学Ⅱ」の授業科目を担当。
- ・専任の興梠 一郎教授が、専任への就任辞退に伴い、専任等区分を兼任に変更。なお、引き続き兼任として、「グローバル・リベラルアーツ入門Ⅱ」、「地域とグローバル世界Ⅰ」及び「講読(GS)(地域とグローバル世界)」の授業科目を担当。
- ・兼担の小関 清美准教授が、「アドベンチャーコミュニケーションプログラム (GLA)」の教育体制充実のため、新たに同授業科目を担当。
- ・兼担の小野塚 和人講師が、昇任に伴い職名を准教授に変更したほか、「社会学Ⅰ」及び「社会学Ⅱ」のクラス数増に伴い、新たにこれらの授業科目を担当。また、これにより就任年月を修正した。
- ・兼任のGregory Paul Glasgow准教授の氏名表記を修正。
- ・兼任の近藤 秀樹講師が、准教授として採用に伴い、専任等区分を兼任に変更。
- ・兼単のTRAN Trong Giang特任准教授が、兼担の春日 淳教授に代わり、新たに「ベトナム語Ⅱ(a)」及び「ベトナム語Ⅱ(b)」の授業科目を担当。
- ・兼担のIgnacio PEDROSA GARCIA講師が、「スペイン語Ⅰ(a)」及び「スペイン語Ⅰ(b)」のクラス数増に伴い、新たにこれらの授業科目を担当。また、兼任の、Patricia ROSALES 講師の退職に伴い、新たに「スペイン語Ⅲ(a)」及び「スペイン語Ⅲ(b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の井芹 俊太郎講師が、講師として採用に伴い、専任等区分を兼任に変更。
- ・兼担の磯田 沙織講師が、兼担の前田 伸人准教授に代わり、新たに「スペイン語Ⅰ(a)」及び「スペイン語Ⅰ(b)」の授業科目を担当。
- ・兼担の江川 潤講師が、「アドベンチャーコミュニケーションプログラム (GLA)」の授業科目の教育体制充実のため、新たに同授業科目を担当。
- ・兼担のEliseu PICHITELLI講師が、兼担のGustavo MEIRELES講師に代わり、新たに「ポルトガル語Ⅱ(b)」授業科目を担当。
- ・兼担のGustavo MEIRELES講師が、「ポルトガル語Ⅰ(a)」及び「ポルトガル語Ⅰ(b)」の授業科目の教育体制充実のため、新たにこれらの授業科目を担当。また、これにより就任年月を修正した。
- ・兼担の坂田 ロスナエニ講師が、兼担の高地 薫講師に代わり、新たに「インドネシア語Ⅱ(a)」の授業科目を担当。
- ・兼担の申 知元講師が、兼任の全 相律講師の退職に伴い、新たに「韓国語Ⅰ(a)」及び「韓国語Ⅰ(b)」の授業科目を担当。
- ・兼担の高地 薫講師が、「インドネシア語Ⅱ(a)」の授業科目を担当しなくなったため、就任年月を修正。
- ・兼担のDaniel Fernandez Alvarez講師が、兼担のNicolas RICO講師の退職に伴い、新たに「スペイン語Ⅰ(a)」及び「スペイン語Ⅰ(b)」の授業科目を担当。
- ・兼担のVeri FARINA BECKSI講師が、「スペイン語Ⅲ(a)」及び「スペイン語Ⅲ(b)」の授業科目のクラス数増加に伴い、新たにこれらの授業科目を担当。
- ・兼任の今村 圭講師が、兼任の林 虹瑛講師の退職に伴い、新たに「中国語Ⅰ(a)」及び「中国語Ⅰ(b)」の授業科目を担当。
- ・兼担の及川 茜講師が退職し、兼任となったことに伴い専任等区分を変更したこと、また、引き続き「文学Ⅰ」及び「文学Ⅱ」の授業科目を担当。
- ・兼任の菊池 慶子講師が、兼任の熊木 淳講師の退職に伴い、新たに「フランス語Ⅰ(a)」及び「フランス語Ⅰ(b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の喜多田 敏嵩講師が、兼任の宮下 和夫講師の退職に伴い、新たに「スペイン語Ⅱ(a)」及び「スペイン語Ⅱ(b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の金 恩正講師が、兼任の高 恩淑講師の退職に伴い、新たに「韓国語Ⅱ(a)」及び「韓国語Ⅱ(b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の佐原 玲講師が、兼任の小澤 真講師の退職に伴い、新たに「フランス語Ⅰ(a)」及び「フランス語Ⅰ(b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の椎根 里菜講師が、兼任の小澤 真講師の退職に伴い、新たに「フランス語Ⅱ(a)」及び「フランス語Ⅱ(b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の澁谷 秋講師が、兼任の高 恩淑講師の退職に伴い、新たに「韓国語Ⅰ(a)」及び「韓国語Ⅰ(b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の全 民講師が、「中国語Ⅰ(a)」及び「中国語Ⅰ(b)」の教育体制充実のため、新たにこれらの授業科目を担当。また、これにより就任年月を修正した。
- ・兼任の高橋 明弘講師が、兼担の青山 治城教授に代わり、新たに「法学Ⅰ」及び「法学Ⅱ」の授業科目を担当。
- ・兼任の高橋 春人講師が、兼任の岩井 亮雄講師の退職に伴い、新たに「韓国語Ⅰ(a)」及び「韓国語Ⅰ(b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の多田 恵講師が、兼任の及川 茜講師に代わり、新たに「中国語Ⅰ(a)」及び「中国語Ⅰ(b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の豊田 圭一講師の職位が、客員教授に変更。
- ・兼任の豊丸 敦子講師が、「スペイン語Ⅰ(a)」及び「スペイン語Ⅰ(b)」の授業科目を担当しなくなったため、就任年月を修正。
- ・兼任の橋爪 英輔講師が、兼任の菅谷 麻衣講師の退職に伴い、新たに「憲法Ⅰ」及び「憲法Ⅱ」の授業科目を担当。
- ・兼任の福山 智講師が、「フランス語Ⅰ(a)」及び「フランス語Ⅰ(b)」の授業科目のクラス数増に伴い、新たにこれらの授業科目を担当。
- ・兼任の三好 勝講師が、兼任の豊丸 敦子講師に代わり、新たに「スペイン語Ⅰ(a)」及び「スペイン語Ⅰ(b)」の授業科目を担当。

【令和4年度】

- ・専任のRobert DeSilva教授について、学内行政職兼務に伴い、担当授業科目を見直したため、「Critical Reading (a)」及び「Critical Reading (b)」の授業科目を担当。
- ・専任のPark Siwon教授が、専任のRobert DeSilva教授に代わり、新たに「Academic Writing (a)」及び「Academic Writing (b)」の授業科目を担当したほか、「Advanced Writing (a)」及び「Advanced Writing (b)」の授業科目については兼任教員が担当することとした。
- ・令和3年度に、専任の興裕 一郎教授が、専任への就任辞退に伴い、学内人事により柴田真一特任教授を専任として配置し、「キャリアデザイン (GLA)」の授業科目を担当。
- ・専任の植田 かおり准教授が、教授への昇任に伴い、職名を修正。
- ・専任の河越 真帆准教授が、教育体制の充実に伴い、新たに「グローバル・ディスカバリー I」、「グローバル・ディスカバリー II」、「グローバル・ディスカバリー (フィールドワーク)」の授業科目を担当。
- ・専任の吉田 京子准教授が、教育体制の充実に伴い、新たに「グローバル・ディスカバリー I」、「グローバル・ディスカバリー II」、「グローバル・ディスカバリー (フィールドワーク)」の授業科目を担当。
- ・専任の上野 太祐講師が、准教授への昇任に伴い、職名を修正。
- ・専任の鈴木 健太講師が、教育体制の充実に伴い、新たに「グローバル・ディスカバリー I」、「グローバル・ディスカバリー II」、「グローバル・ディスカバリー (フィールドワーク)」の授業科目を担当。
- ・専任の高橋 麻奈講師が、教育体制の充実に伴い、新たに「グローバル・ディスカバリー I」、「グローバル・ディスカバリー II」、「グローバル・ディスカバリー (フィールドワーク)」の授業科目を担当。
- ・専任の知念 渉講師が、准教授への昇任に伴い、職名を修正。
- ・兼任の青砥 清一教授が、兼任の橋爪 英輔講師の退職に伴い、新たに「憲法 I」及び「憲法 II」の授業科目を担当。
- ・兼任の白銀 志栄教授が、兼任の花澤 聖子教授に代わり、新たに「中国語 I (a)」及び「中国語 I (b)」を担当。
- ・兼任の権 容璟教授が、兼任の豊島 悠果准教授に代わり、新たに「韓国語 II (a)」及び「韓国語 II (b)」を担当。
- ・兼任の黒田 龍之介特任教授が、兼任の法木 綾子講師に代わり、新たに「ロシア語 II (a)」及び「ロシア語 II (b)」の授業科目を担当。
- ・兼任のARSENIO SANZ RIVERA准教授が、教授への昇任に伴い、職名を修正。
- ・兼任の小野塚 和人准教授が、兼任の興裕 一郎教授に代わり、新たに「グローバル・リベラルアーツ入門 II」の授業科目を担当。
- ・兼任の拝野 寿美子准教授が、兼任の吉野 朋子准教授に代わり、新たに「ポルトガル語 I (a)」及び「ポルトガル語 I (b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の吉田 光宏准教授が、教授への昇任に伴い、職名を修正。
- ・兼任の柳 在廣准教授が、クラス数増に伴い、新たに「韓国語 III (a)」、「韓国語 III (b)」、「経済学 I」及び「経済学 II」の授業科目を担当。
- ・兼任のAshton Dawes講師が、専任のPark Siwon教授に代わり、新たに「Advanced Writing (a)」及び「Advanced Writing (b)」の授業科目を担当。
- ・兼任のAna PINAN ALVAREZ講師が、兼任の磯田 沙織講師に代わり、新たに「スペイン語 I (a)」及び「スペイン語 I (b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の小舘 梓講師が、クラス数増に伴い、新たに「English for Academic Purposes (a)」及び「English for Academic Purposes (b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の洪 妍定講師が、兼任の徐 ミジョン講師に代わり、新たに「韓国語 I (a)」、「韓国語 I (b)」、「韓国語 II (a)」、「韓国語 II (b)」、「韓国語 III (a)」及び「韓国語 III (b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の近藤 光雄講師が、兼任の今村 圭講師の退職に伴い、新たに「中国語 I (a)」及び「中国語 I (b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の坂田 ロスナエニ講師が、兼任の高地 薫講師に代わり、新たに「インドネシア語 II (b)」の授業科目を担当したほか、就任月を4月に修正。
- ・兼任のScott SHELTON-STRONG講師が、クラス数増に伴い、新たに「Self-Directed Learning」の授業科目を担当。
- ・兼任のJonathan MCNAIR講師が、兼任のJames Owens講師に代わり、新たに「Critical Reading (a)」及び「Critical Reading (b)」の授業科目を担当。
- ・兼任のMariia MELNIKOVA講師が、兼任のBethan Kushida講師に代わり、新たに「Advanced Writing (a)」及び「Advanced Writing (b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の陳 力講師が、兼任の周 剛講師及び浜田 ゆみ講師に代わり、新たに「中国語 I (a)」、「中国語 I (b)」、「中国語 II (a)」及び「中国語 II (b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の鷺澤 拓也講師が、兼任のTRAN Trong Giang特任准教授に代わり、新たに「ベトナム語 II (a)」及び「ベトナム語 II (b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の上西 明子講師が、兼任の岡田 由美子講師に代わり、新たに「イタリア語 II (a)」及び「イタリア語 II (b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の小野 二葉講師が、兼任の清水 薫講師の退職に伴い、新たに「ドイツ語 I (a)」、「ドイツ語 I (b)」、「ドイツ語 III (a)」及び「ドイツ語 III (b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の加藤 夢三講師が、兼任の及川 茜講師及び兼任の松井 佳子教授に代わり、新たに「文学 I」、「文学 II」及び「人間と文学」の授業科目を担当。
- ・兼任の岸下 卓史講師が、兼任の三好 勝講師の退職に伴い、新たに「スペイン語 I (a)」及び「スペイン語 I (b)」の授業科目を担当。
- ・兼任の金 新瑛講師が、兼任の金 恵珍講師の退職に伴い、新たに「韓国語 I (a)」及び「韓国語 I (b)」の授業科目を担当。

【令和5年度】

- ・専任のJoanne Mynard教授サバティカル研修のため担当授業科目を他の教員が担当（減：「Self-Directed Learning」「English for GLA I (Introduction to Global Issues)」）
- ・専任のPark Siwon 教授が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「講読(SOC) (言語・文化とコミュニケーション)」）
- ・専任の河越 真帆准教授が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「グローバル・ディスカバリー I」「グローバル・ディスカバリー II」「グローバル・リベラルアーツ入門 II」）
- ・専任の吉田 京子准教授が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（増：「講読(HUM) (宗教文化)」）
- ・専任の釜田 友里江講師が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（増：「講読(SOC) (言語・文化とコミュニケーション)」「研究演習 I」「研究演習 II」「研究演習 III」「卒業研究(キャップストーン・プロジェクト)」）
- ・専任の鈴木 健太講師が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「グローバル・ディスカバリー I」「グローバル・ディスカバリー II」「グローバル・ディスカバリー」）
- ・専任の高橋 麻奈講師が教育体制充実に伴ない、担当授業科目の一部を交代（減：「グローバル・ディスカバリー I」「グローバル・ディスカバリー II」「グローバル・ディスカバリー(フィールドワーク)」「グローバル・リベラルアーツ入門 II」）
- ・兼任の青山 治城特任教授が兼任の講師就任
- ・専任の知念 渉准教授が教育体制充実に伴ない、担当授業科目の一部を交代（減：「グローバル・リベラルアーツ入門 I」「教育学」）
- ・兼任の伊藤 泰子教授が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「English for GLA V (Sustainable Development Goals)」）
- ・兼任の権 容環教授が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「韓国語 II (a)」「韓国語 II (b)」）
- ・兼任の平 香織教授が教育体制充実に伴ない、授業担当科目を交代（授業担当へ復帰）（増：「韓国語 I (a)」「韓国語 I (b)」）
- ・兼任のPhilip Murphy教授が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「Advanced Writing (a)」「Advanced Writing (b)」）
- ・兼任の松井 佳子教授が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（増：「人間と文学」、減：「グローバル・リベラルアーツ入門 I」）
- ・兼任の矢部 富美枝教授が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「心理学 I」「心理学 II」）
- ・兼任の飯島 明子准教授が教授昇任
- ・兼任の小野塚 和人准教授が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「グローバル・リベラルアーツ入門 I」）
- ・兼任の拝野 寿美子准教授が教育体制充実に伴ない、授業担当を交代（減：「ポルトガル語 I (a)」「ポルトガル語 I (b)」）
- ・兼任の町田 明広准教授の教授昇任
- ・兼任の吉野 朋子准教授が教育体制充実に伴ない、授業担当を交代（授業担当への復帰）（増：「ポルトガル語 I (a)」「ポルトガル語 I (b)」）
- ・兼任の柳 在廣准教授が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「韓国語 III (a)」「韓国語 III (b)」）
- ・兼任のAna PINAN ALVAREZ講師が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「スペイン語 I (b)」）
- ・兼任のIgnacio PEDROSA GARCIA講師が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「スペイン語 III (a)」「スペイン語 III (b)」）
- ・兼任のGustavo MEIRELES講師が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「ポルトガル語 II (a)」）
- ・兼任の洪 妍定講師が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「韓国語 III (a)」「韓国語 III (b)」）
- ・兼任の近藤 光雄講師が教育体制充実に伴ない、授業担当を交代（減：「中国語 I (a)」「中国語 I (b)」）
- ・兼任のJennie ROLOFF ROTHMAN講師が教育体制充実に伴ない、担当授業科目の一部を交代（減：「Academic Writing (a)」「Academic Writing (b)」）
- ・兼任のDaniel Fernandez Alvarez講師が教育体制充実に伴ない、担当授業科目の一部を交代（減：「スペイン語 I (b)」）
- ・兼任の富岡 裕講師が教育体制充実に伴ない、授業担当を交代（減：「タイ語 I (a)」「タイ語 I (b)」「タイ語 II (a)」「タイ語 II (b)」）
- ・兼任の陳 力講師が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「中国語 II (a)」「中国語 II (b)」）
- ・兼任のPhoebe Lyon講師が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「Critical Reading (a)」「Critical Reading (b)」）
- ・兼任のワトキンス 聡子講師が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「Self-Directed Learning」）
- ・兼任のIsra WONGSARNPIGOON客員講師を教育体制充実に伴ない、授業担当に追加（増：「Self-Directed Learning」）
- ・兼任の古賀 万紀子を教育体制充実に伴ない、担当教員へ追加（増：「アカデミック日本語 I」「アカデミック日本語 II」）
- ・兼任の曾我部 和馬を教育体制充実に伴ない、担当教員へ追加（増：「教育学」）
- ・兼任のManuel CISNEROSを教育体制充実に伴ない、担当教員へ追加（増：「スペイン語 I (a)」「スペイン語 I (b)」）
- ・兼任のPrateek SHARMAを教育体制充実に伴ない、担当教員へ追加（増：「Critical Reading (a)」「Critical Reading (b)」）
- ・兼任のSamar KASSIMを教育体制充実に伴ない、担当教員へ追加（増：「English for GLA III (Global Communication)」）
- ・兼任のウイモンサラウォン アパボーンを教育体制充実に伴ない、担当教員へ追加（増：「タイ語 I (a)」「タイ語 I (b)」「タイ語 II (a)」「タイ語 II (b)」）
- ・兼任の市川 (秋葉) 宏子講師が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（増：「ドイツ語 III (a)」、減：「ドイツ語 II (a)」「ドイツ語 II (b)」）
- ・兼任の上西 明子講師が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「イタリア語 II (a)」「イタリア語 II (b)」）
- ・兼任の岡田 由美子講師が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（増：「イタリア語 II (a)」「イタリア語 II (b)」）
- ・兼任の加藤 夢三講師が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（減：「人間と文学」）
- ・兼任のKirk Johnson講師が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（増：「English for GLA IV (Peace Studies)」、減：「English for GLA III (Global Communication)」）

- ・兼任の金 新瑛講師が教育体制充実に伴ない、授業担当を交代（減：「韓国語Ⅰ(a)」 「韓国語Ⅰ(b)」）
- ・兼任の蔡 芸娜講師が教育体制充実に伴ない、授業担当を交代（減：「韓国語Ⅰ(a)」 「韓国語Ⅰ(b)」 「韓国語Ⅱ(a)」 「韓国語Ⅱ(b)」）
- ・兼任の佐原 玲講師が教育体制充実に伴ない、授業担当を交代（減：「フランス語Ⅰ(a)」 「フランス語Ⅰ(b)」）
- ・兼任の澁谷 秋講師が教育体制充実に伴ない、授業担当を交代（増：「韓国語Ⅰ(a)」 「韓国語Ⅰ(b)」）
- ・兼任のJean-Pierre ABRIAL講師が教育体制充実に伴ない、授業担当を交代（減：「フランス語Ⅱ(a)」 「フランス語Ⅱ(b)」 「フランス語Ⅲ(a)」 「フランス語Ⅲ(b)」）
- ・兼任の洲崎 圭子講師が教育体制充実に伴ない、授業担当を交代（減：「スペイン語Ⅰ(a)」 「スペイン語Ⅰ(b)」）
- ・兼任のTimothy MURPHEY客員講師が教育体制充実に伴ない、授業担当を交代（減：「English for GLA IV (Peace Studies)」）
- ・兼任の豊丸 敦子講師が教育体制充実に伴ない、担当授業科目の一部を交代（増：「スペイン語Ⅰ(a)」 「スペイン語Ⅰ(b)」）
- ・兼任の仲町 知帆講師が教育体制充実に伴ない、授業担当を交代（減：「スペイン語Ⅰ(a)」 「スペイン語Ⅰ(b)」）
- ・兼任のPatricia ROSALES講師を教育体制充実に伴ない、授業担当に追加（増：「スペイン語Ⅰ(a)」 「スペイン語Ⅰ(b)」）
- ・兼任の浜田 ゆみ講師が教育体制充実に伴ない、授業担当科目の一部を交代（増：「中国語Ⅱ(a)」 「中国語Ⅱ(b)」）
- ・兼任の許 秦を教育体制充実に伴ない、担当教員へ追加（増：「韓国語Ⅰ(a)」 「韓国語Ⅰ(b)」 「韓国語Ⅱ(a)」 「韓国語Ⅱ(b)」）
- ・兼任の金 シンガックを教育体制充実に伴ない、担当教員へ追加（増：「韓国語Ⅰ(a)」 「韓国語Ⅰ(b)」）
- ・兼任の栗原 和樹を教育体制充実に伴ない、担当教員へ追加（増：「教育学」）
- ・兼任の桑名 俊徳を教育体制充実に伴ない、担当教員へ追加（増：「心理学Ⅰ」 「心理学Ⅱ」）
- ・兼任の渡邊 香織を教育体制充実に伴ない、担当教員へ追加（増：「韓国語Ⅰ(a)」 「韓国語Ⅰ(b)」）
- ・兼任の李 ヒョンジンを教育体制充実に伴ない、担当教員へ追加（増：「韓国語Ⅰ(a)」 「韓国語Ⅰ(b)」 「韓国語Ⅱ(a)」 「韓国語Ⅱ(b)」）

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
5	4	5	0	14	0	7	4	3	0	14	0
(5)	(4)	(5)	(0)	(14)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
5	4	5	0	14	0	5	4	5	0	14	0
[2]	[0]	[△2]	[0]	[0]	[0]	[2]	[0]	[△2]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、〔 〕内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、〔 〕内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
2004.4.1以前に任期の定めのない契約准教授、専任教授、講師	0	0
2004.4.1以前に任期の定めのない契約准教授10、准教授65、講師	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合は、「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)-① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	興梶 一郎	R3.3	必修	グローバル・リベラルアーツ入門Ⅱ	②	学内の諸事情により急遽、附置研究所である言語教育研究所で主として研究に従事することとなったため、兼任教授となる。(3)						
				選択	地域とグローバル世界Ⅰ	②							
				選択	講義(S5)(地域とグローバル世界)	②							
				必修	研究演習Ⅰ	①							
				必修	研究演習Ⅱ	①							
				必修	研究演習Ⅲ	①							
合計(D)				後任補充状況の集計(E)									
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)					
1	人	必修	5	科目	必修	4	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	0	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	4	科目	計	3	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計(F)				後任補充状況の集計(G)						
辞任した教員数				担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-③ 上記(3)-①・(3)-②の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)									
辞任等した教員数				担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)					
1	人	必修	5	科目	必修	4	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	0	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	4	科目	計	3	科目	計	0	科目

(3)-④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{14} = 7.14 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)-⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3)-①、(3)-②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D)+(F)と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

興梠 一郎教授の専任辞任に伴い、令和4年4月1日付の学内人事により特任教授を専任として配置し、専任の教育体制を整備した。なお、興梠 一郎教授が担当する「グローバル・リベラルアーツ入門Ⅱ」の授業科目については他の兼担教員が担当した。このほか、「地域とグローバル世界Ⅰ」の授業科目は、当人が兼担として担当することとしたが、令和5年度は時間割編成上未開講となった。次年度には開講するため、授業運営への支障が無い。また、2年後期から開講される研究演習Ⅰについては、専任のPark Siwon教授が担当することとしており、これらにより、全体的な授業運営に支障が無い。さらに、このことは入学時及び授業開始時のガイダンスや授業開始時に周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<グローバル・リベラルアーツ学部 グローバル・リベラルアーツ学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学委員会として、神田外語大学ファカルティ・ディベロップメント委員会を設置している。
別添資料：「神田外語大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規則」

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

委員会は、副学長、研究科長、学部長、各学科長及び各専攻長、教務委員長、教養教育専門部会長、教育研究に関わる学内附属機関所属教員のうちから学長が指名した者、事務局長及び学長室ゼネラルマネージャー、その他学長が指名した教職員により構成され、年5回程度開催されている。

c 委員会の審議事項等

委員会の審議事項は、FDに関する研究・企画運営、情報収集及び教育機関との連携、活動の報告に関することとしている。

② 実施状況

a 実施内容

- ア 学生による授業評価アンケートの実施と授業改善
- イ 教職員による授業参観・授業見学
- ウ FD講演会
- エ 入職時研修会

b 実施方法

- ア ③に記載
- イ 再任審査対象（テニュアトラック）の教員、特任教員、語学専任講師、留学生別科教員及び新任の全非常勤講師を対象として授業参観を行っている。
また授業見学として、教職員が他の教員の授業を見学し、お互いから学び合うFD・SDも実施。
- ウ 授業のグッドプラクティス（事例紹介）や授業実践に係るセミナーが中心となる。
- エ 専任の新任教員（参加義務）を対象としている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ア ③に記載
- イ 授業参観については、対象者45名を実施。授業見学については、授業公開教員数13名、公開科目数22科目、見学者数は延べ159名。

- ウ 学習者本位の教育とシラバスの重要性に関するFDセミナーを2022年12月7日実施。
110名の教職員が参加。
また、授業実践事例やFD関連情報を共有するためのサイト（Google Classroom）を設けており、
168名の教職員が登録している。
- エ 14名の新任専任教員に対し、理事長・学長の講話、テニユアになった教員による対談及び事務局説明、学内の
施設見学を実施。
また、事務局からの案内事項をオンデマンドコンテンツとして事前に共有。それらは既存の教員（専任・非常
勤）にも公開されている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ア アンケート結果を各担当教員にフィードバックすることにより、各授業の有効性を検証するとともに、当該
検証結果を踏まえて恒常的・継続的な授業改善を行っている。
- イ 教員による授業参観は、その結果をフィードバックし、対象教員はリフレクションシートを提出することで
授業改善に役立てているほか、教職員による授業見学終了後は、改善や工夫に資するべく、担当教員にオブザ
ベーションリポートを提出している。
- ウ 授業評価アンケートを、より授業改善に役立てやすい内容に刷新したことに伴い、学習者本位の教育とシラバス
の重要性を改めて認識し自身の授業とシラバスの書き方を見直す機会とすべく、授業評価アンケートの活用方法
をFD委員が解説したほか、FD活動の盛んな他大学の教員を招聘し講演会を行った。
- エ 本学教育職員としてのキャリアの円滑なスタートに資している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

FD委員会の協力の下、「教務委員会」が中心となり、各学期末に全開講科目を対象として、
「授業評価アンケート」を実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、大学ホームページを通じて学生・一般に公開を行っている。

また、各担当教員にフィードバックし、各授業の有効性を検証している。

加えて、各担当教員はアンケート結果に対するフィードバックを行っており、その内容は学生に共有
されている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成で
あることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部の「本学の建学の理念を踏まえ、高度な英語運用力と幅広い教養を身につけ、グローバルな視座に立って発想し、世界と日本の困難な課題に立ち向かい、その平和の希求と繁栄の維持に主体的に貢献できる人材を育成する」という設置趣旨のもと、ディプロマ・ポリシーを踏まえたカリキュラム・ポリシーに基づき、外国語科目、GLA 基礎科目、基礎教養科目、専門教養科目、演習科目及び卒業研究（キャップストーン・プロジェクト）に区分された教育課程において、令和5年4月から3年次生の教育を開始した。入学者選抜については、アドミッション・ポリシーに掲げる能力を確認するため、総合型選抜、学校推薦型選抜、海外経験特別選抜、一般入試、共通テストプラス入試及び共通テスト利用入試の6つの方式で入学者選抜を実施し、新たに67名の入学者を受け入れた。なお、初年次に行う海外スタディツアーは、新型コロナウイルスの影響を受けつつ実施した過去2年間の成果を踏まえ、国内研修施設での1週間の宿泊型事前プログラムを受講した後、リトアニアなど4つの地域へ2週間のフィールドワークを実施することとしている。また、3年次生は、後期にニューヨーク州立大学（SUNY）へ長期留学することになっており、そのための準備を進めているところである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年9月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和5年9月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和8年に、評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

なお、令和元年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による認証評価（第三者評価）を受審し、同機構が定める大学評価基準に「適合」しているとの評価を得ている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。